

主催 感染・免疫クラスター

共催 指定クラスター（免疫難病の治療開発研究/代表：安友 康二）

令和3年

日
時

12月21日(火)

17:00~18:30

オンライン開催 Zoomライブ配信
ファイトケミカルの
免疫機能調節作用

立花 宏文 主幹教授

九州大学 農学研究院 生命機能科学部門 食料化学工学

食品の生体調節作用を生かした機能性食品の開発が盛んである。植物由来成分であるファイトケミカルは、そうした食品の機能性を担う因子として重要な働きをしている。最近、ファイトケミカルを生体がどのようにして感知し、その機能性を発現するののかという視点での解析が進みつつある。演者らは緑茶の生体調節作用を担う主要なファイトケミカルの一種、(-)-エピガロカテキンガレート (EGCG) のがん細胞増殖抑制作用を仲介する「細胞膜センサー」としてラミニン受容体の一種である67-kDaラミニンレセプター(67LR)を同定した。これまでに、EGCGの抗アレルギー作用や抗炎症作用などにも67LRが関与することが明らかになった。本講演では、EGCGを含む代表的なファイトケミカルの免疫機能調節作用とそのメカニズムついて紹介する。

座長;実践栄養学分野 酒井 徹 教授

本講演は大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびに、指定研究クラスター（免疫難病の治療開発研究/代表：安友 康二）、クラスターコアセミナー（感染・免疫クラスター）を兼ねています。

※オンライン視聴ご希望の方は事前申込必須 →申込締切 12/20（月）

オンライン視聴申込

■以下のいずれかの方法で必要事項をご入力ください。

- ①右記のQRコードを読み、表示された申込フォームに必要事項を入力。
- ②toyozaki.miwa@tokushima-u.ac.jp（生体防御医学分野/豊崎）へ
氏名、ご所属、メールアドレスをお知らせください。

- ①②申込確認後、Zoomのご招待メールをお送りします。
当日は招待メールのリンクからご参加ください。

申込 QRコード



連絡先 生体防御医学分野 内線2282